

## 平成28年度 居宅介護支援事業計画評価

事業目標	事業方針
<p>対人援助の専門職として、ご利用者やご家族、地域に対して専門性の高い支援が実施できるよう努めます。</p>	<p>①介護支援専門員の質の向上に努めるため、毎週1回以上の勉強会や情報共有の会議を開催する。(特定事業所として質の高いケアマネジメントを提供するために開催)</p> <p>②包括支援センターと連携しながら、困難事例の受け入れや、地域ケア会議、個別ケア会議、包括勉強会等へ参加する。</p> <p>③施設外研修を受講し、事業所内で伝達講習を行い、事業所としてのスキルアップにつなげる。</p>
総評	
<p>①特定事業所として週1回の勉強会と情報共有会議を実施している。勉強会は担当制にしており、月に1回勉強会の担当となるようにしている。勉強会の内容はケアマネジメントに関連する分野だけでなく、対人援助やコミュニティ・ソーシャルワーク、介護保険以外の制度、心理学など様々な勉強も実施している。地域包括ケアシステムの構築に向けて居宅介護支援事業所が担っていく部分に関しても、勉強や意識づけを行い、介護支援専門員各人が地域包括ケアシステムの一員であることを理解し、行動するよう働きかけを行った。ケース検討においては、一人で抱え込まず、多角的にケースを検討し、事業所内にとどまらず、包括支援センターや行政を巻き込んだ個別ケア会議まで展開させるものも出てきた。</p> <p>②当事業所には基礎資格が保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士、介護福祉士と専門領域の異なる介護支援専門員が在籍している。そのことを包括に認識してもらっており、困難事例(経済困窮、身寄りなし、がん末期、難病、虐待など)の紹介が多くあった。事業所だけで抱え込まず、包括支援センターや行政を巻き込み、個別ケア会議を開催するなど、地域資源を活用しながら対人援助の実践にあたることができた。包括主催の他職種連携会議などにも参加し、勉強の機会だけでなく、関係機関との関係づくりにも効果があった。</p> <p>③施設外研修に関しては県、市、社協、包括、医療機関、各種団体が開催するものに積極的に参加した。受講者は居宅会議の中で伝達講習を実施し、事業所としてのスキルアップにつながった。</p>	
事業目標	
<p>地域との連携に努め、地域づくりに寄与できるよう努めます。</p>	<p>※法人の地域貢献事業計画に基づいて進める。</p>
進捗状況	
<p>※地域貢献活動に関しては、地域貢献活動事業報告書を参照。</p>	